

2024 年度 教育 ICT 研修会

質疑応答

■質疑 1

宮崎県の GIGA スクール構想の一人一台端末構想はどのような状況なのか。

□回答 1

小中学校の場合は前年度以前に実現し、高校の場合は今年から全生徒への一人一台が実現したが、授業への活用など教師もまだ不慣れである。コンピューター端末を利用した授業は総合の授業のみであり、全授業への活用はまだ難しい。

また、電子教科書が今年度から小学校に導入されたが、依然紙の教科書は必要である。その理由として、授業形態によって付属の資料が必要になるため電子教科書だけでは難しい。

■質疑 2

大学一年生が入ってきたときに、昔よりキーボードが下手な生徒と上手な生徒の差が激しくなっている。

□回答 2

第一期 GIGA スクール構想前半の問題点として、コンピューター端末を手配するのは県教育委員会の場合が多く、キーボードが付属しないものを手配した場合もあった。そのためキーボードの習熟ができなかった。そういった問題から第二期 GIGA スクール構想ではキーボードの購入も必須になった。

また、今の生徒たちはキーボードを学習した生徒たちなので高校もだんだん変わっていく。

■質疑 3

情報も上と下の差が激しい、Word と Excel は使えない生徒も多いのはなぜか。

□回答 3

コンピューター端末を使用して自分たちで調べながら学習を行う総合の授業はあるが、Word や Excel などのソフトウェアを使用した授業は存在しない。そのためコンピューター端末の操作に関する習熟度はあるが、Word や Excel 等のソフトウェアに関しては習熟度に差がある。

また小中学校はソフトウェアが充実しているが、ソフトウェアを使用する授業が存在しない。

■質疑 4

一人 1 台持つ必要があるが、コンピューター端末を購入するための予算はどうなっているのか。

回答 4

県が負担する場合と保護者負担の場合の二つがあり、宮崎県は保護者負担になっている。

説明 4

県が負担する場合はコロナ交付金を使っている場合が多く、他の県からどのように予算を組み、保護者への対応をしたのか問い合わせあった。

■質疑 5

使用するコンピューター端末を手配するのは県教育委員会が主だが、故障率の高いものを手配してしまう問題があった。宮崎県の場合は、どのような対応をするのか。

回答 5

その問題により、第二期 GIGA スクール構想では交付金を増額し、信頼性の高い端末を提供できるようになった。

また、宮崎県の場合は Chromebook、iPad が多い。金銭的に購入するのが厳しい場合は対応端末を貸し付けすることで対応する。

説明 5

第二期 GIGA スクール構想では、宮崎県では Chromebook に統一される可能性が高い。Chromebook では Google Workspace for Education というクラウド上で使用できるツールがあり、それが授業への相性が良く、各学校でも導入される可能性がある。

■質疑 6

第二次 GIGA スクール構想に NPO として手伝えることはあるか。

回答 6

事務作業的なものを依頼する可能性がある。

■質疑 7

情報の試験の方向性はどうか。

回答 7

去年の 2 月から進研模試の問題が、説明を読んで答えを判断する思考力を重視したテストが主になっている。

■**質疑 8**

先生たちの評価の仕方はどうなる？

□**回答 8**

技能に関しては定期テスト、提出物で判断。総合的な学習で基礎的な知識と ICT 教育とを分けて形を作っている。